

令和 7 年度
第 3 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

1 日 時	令和 7 年 8 月 8 日（金） 10 時～10 時 15 分
2 場 所	教育委員会室
3 議 題	各施策についての点検・評価（総括）
4 資 料	次第、座席表、出席者名簿、令和 7 年度さいたま市教育行政点検評価委員会意見のまとめ
5 出 席 者	別紙出席者名簿のとおり
6 議 事	＜開 会＞ 10 時開会 会議を非公開とはしないことを決定した。 傍聴者なし。 議題 各施策についての点検・評価（総括） これまで開催した過去 2 回の点検評価委員会の総括として、各委員へ追加意見等がないか確認を求めた。 →追加意見 ＜平澤委員＞ 博物館・美術館・公民館等が配信する動画コンテンツの閲覧数を伸ばすための取り組みについて、動画配信をする意義そのものを見直した方がよい。1 つの意義として、障害があって家から出て行くことが難しい方にとって、公民館の講座、博物館、美術館の内容が少しでもわかるようなものがあることは、すごく助けになる部分である。動画配信を続けていくのであれば、もっと専門的な意見を持っている方に、動画を見てもらうためのコツや戦略を練って、いただくなどを取り入れて、本気で見てもらうようにしていくことが必要である。そこまでの作成の必要が本当にあるのかどうかを今一度検討していただいた方がよいのではないか。 ＜橋本委員＞ 動画配信を 4 年前に始めたときは、作り手も予算もない中で博物館の職員が一生懸命工夫して、少しずつ始めたことが実情である。予算をつけて、今平澤委員からお話があったような専門家の意見を取り入れるなど積極的にやっていくことは必要である。今の子どもたちはタブレットを使用しており必要性は審議会の中でも話題となっている。ツイッターなど私の知る限りでは、この 4 年間で博物館に関してはすごく伸びている。推進していくことは必要なことと考える。 ＜和田委員＞ さいたま市 PTA 協議会でも同じ課題があり、Instagram で動画配信をしてみたりいろいろ取り組むなかでその効果を狙うのであれば、専門家の手を借りることが必要ではないかという意見もある。日々の積み重ねで、コンテンツの量が増えることでそれが資産となり、例えばユーチューバーの人に拾ってもらえるようになるような、二次的な効果もあると思

令和 7 年度
第 3 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

う。また、例えば、参加した人に SNS で投稿してもらい、なにか景品がもらえるなど、市民も巻き込んだ PR という発想でやってもよいのではないかと考える。

＜平澤委員＞

行政機関が配信することで、信頼性や年配の方でも入りやすいといった点があると思う。閲覧してもらうためには「さいたま市がやる意義」をもっと進めていただけるとよい。

＜教育政策室長＞

教育委員会でも動画配信、SNS を活用した情報発信に力を入れようと、動画配信を担う市の広報部門から教えを受けながら、少しずつ取り組み始めている。和田委員がおっしゃったようにコンテンツを積み重ねたうえで、見てもらうことが大事であると考えている。生涯学習の方は橋本委員がおっしゃったように、以前より作り始めた動画についてもブラッシュアップしていく。取り組みとしてはまだ始めたばかりだが、紙だけでなく今のメディアでも配信できればと考えている。

(その他)

さいたま市教育行政点検評価委員会設置要綱第 2 条の規定に基づき、点検評価委員会としての意見を教育委員会に報告する件について、事務局から各委員へ説明した。

＜閉 会＞ 10 時 15 分 閉会

【問合せ先】 教育委員会事務局管理部教育政策室 8 2 9 - 1 6 2 6